

(1)事業の概要等

事業番号	B2801
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	浸水防止塀設置助成事業					担当部			建設部		
	事業期間	平成18年度	～	令和6年度以降		担当課			河川課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本 施策	28	展開 方向	1	担当係			河川係		
	予算区分	一般会計	款	8	項	3	目	3	大	4	中	2
	根拠法令・個別計画	小牧市浸水防止塀設置補助金交付要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	大雨時の浸水による家屋等の被害を防止するために、新たに設置される「浸水防止塀」の工事費に対し補助金を交付することで、「浸水防止塀」の設置を促し、市内の浸水被害軽減を目指す。										
	対象 (何・誰を対象に)	市内に土地、家屋等を所有する方										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	●実施内容 大雨時の浸水による家屋等の被害を防止するために、新たに設置される「浸水防止塀」の工事費に対し、補助金(1/2・限度額あり)を交付する。										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4
			直接経費	財源	千円	267	0
	一般財源	千円	267	0	78	133	
	国・県支出金	千円	—	—	—	—	
	その他	千円	—	—	—	—	
	計(A)	千円	267	0	78	133	
	対前年比	%	—	△ 100	—	70	
	予算額	千円	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
人件費	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01	
	正規職員(平均賃金)	千円	75	75	75	75	
	その他職員	人					
	その他職員(時給×時間)	千円					
	計(B)	千円	75	75	75	75	
事業費合計(C=A+B)		千円	342	75	153	208	

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	28	展開方向			1
指標名	単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4	
1	雨水整備区域の整備率	%	↗	7.8	9.5	9.5	9.5	
2								
3								

指標	指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4
	成果指標	床上、床下浸水の被害戸数	戸	目標		0	0	0	0
実績					2	0	0	0	
浸水防止塀設置助成金交付額		千円	目標		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績		267	0	78	133	
活動指標	浸水防止塀設置申請件数	件	目標		—	—	—	—	—
			実績		1	0	2	1	
				目標					
				実績					
単位事業あたり	受益者数(a)		人		—	—	—	—	
	受益者あたり事業費(=C/a)		円		—	—	—	—	

(4)事業の評価

事業の方向性	廃止⇒新規	現状の事業内容を廃止し、より効果的な事業内容を新たに実施すべきもの
事業の評価	事業の達成状況と課題	<p>●達成状況 平成30年度から令和3年度までに4件(事業所1件、個人3件)、延長110.2mについて、浸水防止塀設置助成を行った。</p> <p>●課題 近年、全国で激甚化、頻発化している豪雨災害に対し、行政による河川のみの対策または下水道のみの対策だけでは浸水被害を防止することに限界があることから、個人、事業所、地域みずからが浸水対策を行う「自助」や「共助」を適切に組み合わせた総合的な治水対策が必要であります。浸水防止塀設置助成はこうした自助の行動を促すための事業であるが、近年は申請件数が1~2件と少なくなっている。今後も引き続き市民の方に浸水防止塀設置助成事業を広く認知して頂けるようにPR活動を行っていく必要がある。</p> <p>平成30年度以降の床上、床下浸水の被害戸数が0~2件であり、市民の方の浸水被害の意識低下が近年の申請件数の少なさの主要因と推察されるが、比較的大掛かりな工事への助成制度のため、利用のしづらさも要因のひとつであると考えられる。今後は事業を継続しつつ、廃止を前提に、より利用しやすい新制度の研究を行っていく必要がある。</p>
	今後の実施内容	<p>浸水対策のために必要な事業であるため、事業は引き続き継続しつつ、PR活動も行いながら、廃止を前提に、より利用しやすい新制度の研究を行っていく。</p> <p>●PR方法 ・毎年5月1日号の広報こまき ・フェイスブックやツイッターでの紹介 ・6月中旬に開催しています新川流域ビジュアルボードフェア等の各種イベントを通じてPR ・河川課や下水道課で行なう事業説明会の折にもPR ・浸水被害の状況を後日調査・確認する際にも、被害に合われた方に助成事業をPR</p>
事務事業評価による額	千円 節	細節 細々節